

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東北財務局長
【提出日】	平成25年8月14日
【四半期会計期間】	第44期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社やまや
【英訳名】	YAMAYA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山内 英靖
【本店の所在の場所】	宮城県仙台市宮城野区榴岡三丁目4番1号
【電話番号】	022(742)3111(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 田原口 裕基
【最寄りの連絡場所】	宮城県仙台市宮城野区榴岡三丁目4番1号
【電話番号】	022(742)3111(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 田原口 裕基
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第1四半期連結 累計期間	第44期 第1四半期連結 累計期間	第43期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	28,916	30,018	119,885
経常利益(百万円)	862	819	3,767
四半期(当期)純利益(百万円)	533	497	2,218
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	530	482	2,310
純資産額(百万円)	18,635	20,625	20,306
総資産額(百万円)	34,874	36,552	35,728
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	49.18	45.91	204.63
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	53.4	56.4	56.8
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	81	405	2,201
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	254	493	2,136
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	433	12	77
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(百万円)	3,565	3,349	3,449

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

4. 四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期のわが国経済は、新政権による積極的な経済政策や金融緩和措置による期待感から、円安や株価の上昇など、一部では明るい兆しが見られたものの、海外経済の下振れ懸念などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

酒販業界では、業種・業態を超えた競争がますます厳しさを増し、原材料の価格高騰や電気料金の値上げの影響、消費税増税など、先行きに対する懸念は払拭されておらず、厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループは、お客様の視点に立ったお店づくりを目指し、輸入商品、地域商品の両面でお品揃えの強化、新規出店と、改装による既存店の活性化を推し進めるとともに、地域物流を強化し、トータルコストの低減に努め、経営基盤の強化と経営効率の向上へ取り組んでまいりました。

新規の出店は、あけぼの店（宮城県）、小杉店（富山県）、御池高瀬川店（京都府）の3店舗を開店しました。

既存店の改装は、大崎店（宮城県）、スピード西大津店（滋賀県）、楽市川西店（兵庫県）の3店舗の改装を実施し、西大津店、川西店につきましては、酒類と嗜好品の専門店として、業態転換を図る改装を行い、店名を「やまや」に変更いたしました。

また、だいじん千石町店（富山県）、びっくり酒店長浜みなと店（福岡県）の2店を閉店しました。

以上の結果、当社グループの総店舗数は304店舗になりました。

当第1四半期は、既存店売上高が概ね前年並みに推移し、昨年度の新店、譲受店舗及び、今年度の新店の売上高が加わることで、売上高は103.8%と伸張いたしました。

反面、新店の初期費用の計上及び、既存店舗の照明のLED化による費用（19店舗実施で51百万円）を販売費及び一般管理費に一括計上したことにより、増益にはいたりませんでした。

これらの結果、当第1四半期における連結業績は、売上高が300億18百万円（前年同期比103.8%）、営業利益は7億98百万円（同100.0%）、経常利益は8億19百万円（同95.1%）、四半期純利益は4億97百万円（同93.3%）となりました。

(2) 財政状態

	前連結会計年度末 (平成25年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (平成25年6月30日)	増減
総資産(百万円)	35,728	36,552	823
総負債(百万円)	15,422	15,926	504
うち借入金(百万円)	3,116	3,267	151
純資産(百万円)	20,306	20,625	319
自己資本比率	56.8%	56.4%	0.4%
1株当たり純資産額(円)	1,872.64	1,902.17	29.53

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて8億23百万円(2.3%)増加し、365億52百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が1億円減少し、商品及び製品が7億91百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて6億1百万円(3.5%)増加し、177億23百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて2億21百万円(1.2%)増加し、188億28百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて5億4百万円(3.3%)増加し、159億26百万円となりました。

流動負債は、買掛金で10億39百万円増加し、短期借入金及び1年以内返済予定の長期借入金で1億51百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて5億14百万円(3.7%)増加し、145億11百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて10百万円(0.7%)減少し、14億14百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて3億19百万円(1.6%)増加し、206億25百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.8%から56.4%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	81	405	323
投資活動によるキャッシュ・フロー	254	493	238
フリー・キャッシュ・フロー	173	88	85
財務活動によるキャッシュ・フロー	433	12	446

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて1億円減少し、33億49百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は、4億5百万円となり、前年同四半期と比べて3億23百万円増加しました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益が8億19百万円、減価償却費が3億18百万円となり、仕入債務が10億39百万円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、4億93百万円となり、前年同四半期と比べて2億38百万円増加しました。

主な要因は、有形固定資産の取得に2億81百万円、投資有価証券の取得に2億18百万円を支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は、12百万円(前年同四半期は4億33百万円の収入)となりました。

主な要因は、短期借入金の純増加で3億円、長期借入金の返済に1億48百万円、配当金の支払に1億62百万円を支出したことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,000,000
計	35,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,847,870	10,847,870	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	10,847,870	10,847,870	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	10,847,870	-	3,247	-	6,137

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 4,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,802,800	108,028	-
単元未満株式	普通株式 40,970	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	10,847,870	-	-
総株主の議決権	-	108,028	-

(注)1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が600株(議決権の数6個)含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が55株含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社やまや	宮城県仙台市宮城野区 榴岡三丁目4番1号	4,100	-	4,100	0.04
計		4,100	-	4,100	0.04

(注)当第1四半期会計期間末現在の自己株式数は4,505株となっております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,449	3,349
売掛金	1,609	1,640
商品及び製品	10,643	11,435
仕掛品	58	61
原材料及び貯蔵品	25	21
前払費用	396	403
繰延税金資産	364	192
その他	574	619
流動資産合計	17,121	17,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,452	17,615
減価償却累計額	10,322	10,506
建物及び構築物(純額)	7,130	7,109
機械装置及び運搬具	2,645	2,655
減価償却累計額	2,127	2,159
機械装置及び運搬具(純額)	517	496
工具、器具及び備品	5,221	5,339
減価償却累計額	4,044	4,144
工具、器具及び備品(純額)	1,176	1,195
土地	4,955	4,955
建設仮勘定	15	55
有形固定資産合計	13,794	13,811
無形固定資産		
ソフトウェア	15	15
のれん	20	19
その他	23	23
無形固定資産合計	59	58
投資その他の資産		
投資有価証券	430	615
関係会社株式	461	480
破産更生債権等	36	36
長期前払費用	121	119
差入保証金	3,477	3,467
繰延税金資産	257	271
その他	32	32
貸倒引当金	65	65
投資その他の資産合計	4,752	4,958
固定資産合計	18,606	18,828
資産合計	35,728	36,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,149	9,188
短期借入金	2,500	2,800
1年内返済予定の長期借入金	616	467
未払金	718	847
未払費用	447	448
未払法人税等	831	177
未払消費税等	165	113
預り金	74	158
賞与引当金	411	215
その他	83	94
流動負債合計	13,997	14,511
固定負債		
退職給付引当金	38	39
役員退職慰労引当金	460	456
資産除去債務	570	578
負ののれん	58	44
その他	296	295
固定負債合計	1,424	1,414
負債合計	15,422	15,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	6,055	6,055
利益剰余金	10,899	11,234
自己株式	4	5
株主資本合計	20,197	20,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109	94
その他の包括利益累計額合計	109	94
純資産合計	20,306	20,625
負債純資産合計	35,728	36,552

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 1 四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	28,916	30,018
売上原価	24,064	24,820
売上総利益	4,852	5,197
販売費及び一般管理費	4,053	4,398
営業利益	798	798
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	6	4
受取賃貸料	20	-
持分法による投資利益	23	8
負ののれん償却額	14	14
その他	27	7
営業外収益合計	93	37
営業外費用		
支払利息	3	1
店舗改装費用	10	5
店舗閉鎖損失	2	4
賃貸収入原価	8	-
その他	6	4
営業外費用合計	30	16
経常利益	862	819
税金等調整前四半期純利益	862	819
法人税、住民税及び事業税	152	155
法人税等調整額	176	166
法人税等合計	329	322
少数株主損益調整前四半期純利益	533	497
四半期純利益	533	497

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	533	497
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2	15
その他の包括利益合計	2	15
四半期包括利益	530	482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	530	482
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	862	819
減価償却費	301	318
長期前払費用償却額	4	4
のれん償却額	14	1
負ののれん償却額	14	14
持分法による投資損益(は益)	23	8
支払利息	3	1
受取利息及び受取配当金	8	6
賞与引当金の増減額(は減少)	276	196
退職給付引当金の増減額(は減少)	1	1
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4	3
未収入金の増減額(は増加)	23	53
売上債権の増減額(は増加)	1	31
たな卸資産の増減額(は増加)	786	791
仕入債務の増減額(は減少)	1,049	1,039
その他	129	87
小計	969	1,168
利息及び配当金の受取額	6	4
利息の支払額	3	1
法人税等の支払額	891	766
営業活動によるキャッシュ・フロー	81	405
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	-	218
有形固定資産の取得による支出	217	281
ソフトウェアの取得による支出	-	2
長期前払費用の取得による支出	7	2
差入保証金の差入による支出	61	39
差入保証金の回収による収入	31	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	254	493
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	800	300
長期借入金の返済による支出	148	148
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	216	162
財務活動によるキャッシュ・フロー	433	12
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	259	100
現金及び現金同等物の期首残高	3,305	3,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,565	3,349

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金勘定	3,565百万円	3,349百万円
現金及び現金同等物	3,565	3,349

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月8日 取締役会	普通株式	216	20	平成24年 3月31日	平成24年 6月14日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月7日 取締役会	普通株式	162	15	平成25年 3月31日	平成25年 6月13日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、酒類等販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	49円18銭	45円91銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	533	497
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	533	497
期中平均株式数(千株)	10,844	10,843

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年5月7日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額 162百万円

(ロ) 1株当たりの金額 15円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年6月13日

(注) 平成25年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

株式会社やまや
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

高原 透 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

谷藤 雅俊 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社やまやの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社やまや及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。